

報道関係者各位

一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム

2010年モバイルコンテンツ関連市場の合計は、1兆6,550億円

モバイルコンテンツ市場は、6,465億円

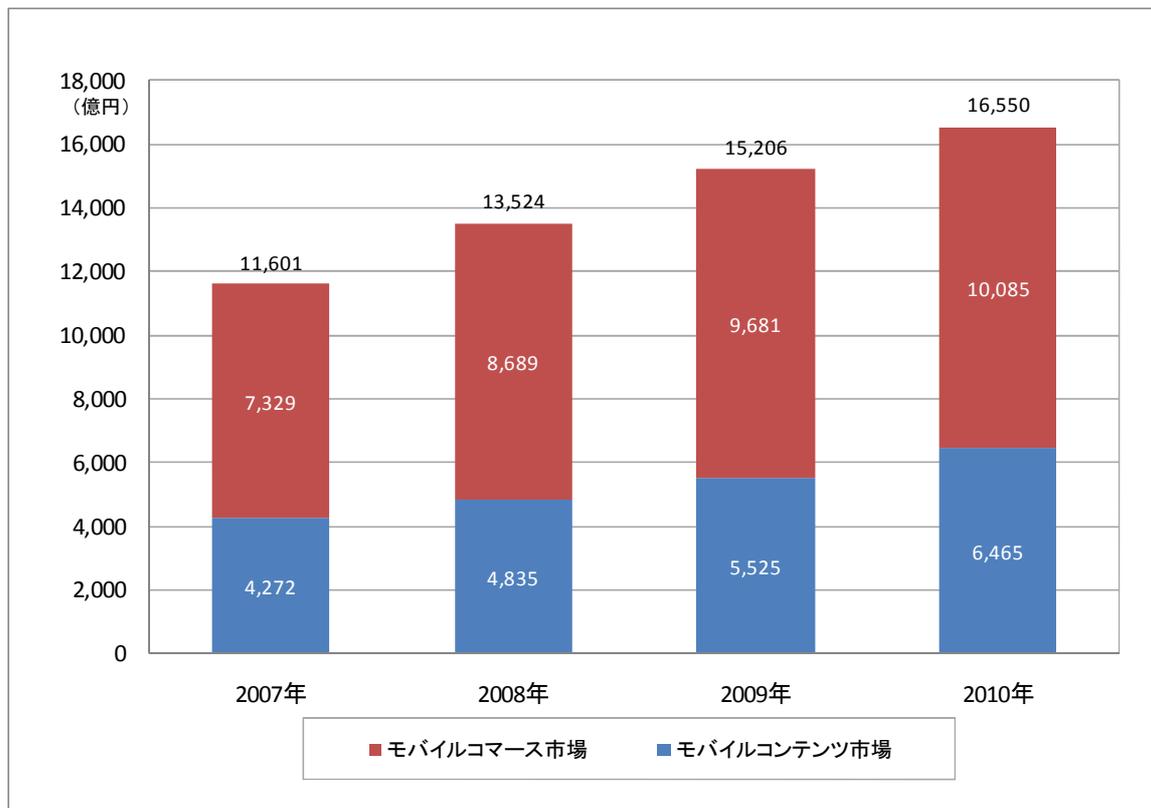
モバイルコマース市場は、1兆85億円

(単位：億円)

市場カテゴリー	2007年	2008年	2009年	対前年比	2010年	対前年比
モバイルコンテンツ市場	4,272	4,835	5,525	114%	6,465	117%
モバイルコマース市場	7,329	8,689	9,681	111%	10,085	104%
モバイルコンテンツ関連市場	11,601	13,524	15,206	112%	16,550	109%

総務省発表資料 「2010年 モバイルコンテンツの産業構造実態に関する調査結果」

*一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム調査



一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム（MCF）では2010年（1月～12月）のモバイルコンテンツ関連市場について市場規模調査を実施しました。モバイルコンテンツ関連市場として、着信音系、ゲーム系をはじめとしたデジタルコンテンツを有料配信する「モバイルコンテンツ市場」と、物販系、サービス系、トランザクション系の3分野で構成された「モバイルコマース市場」について結果を公表いたします。2010年の両市場をあわせた「モバイルコンテンツ関連市場」の合計は対前年比109%の1兆6,550億円となりました。また、今回の調査から「モバイルコンテンツ市場」に関連し、参考値としてオープンプラットフォーム市場についても調査しております。

社団法人電気通信事業者協会によると、携帯電話の契約数は2011年6月末で1億2,125万契約、そのうちコンテンツの利用が可能なインターネット対応の携帯電話は9,868万契約、第3世代（3G）携帯は1億2,003万契約と契約数全体の99%となっています。現在スマートフォンのユーザーが急拡大しております。コムスコア社「モビレンズ」データによるとOSごとのユーザー数は2010年12月時点ではiPhoneが378万ユーザー、Androidが217万ユーザーだったのに対し、2011年3月時点で、iPhoneが390万ユーザーで12万増、Androidが460万ユーザーで243万増と、特にAndroidユーザーが急増しております。

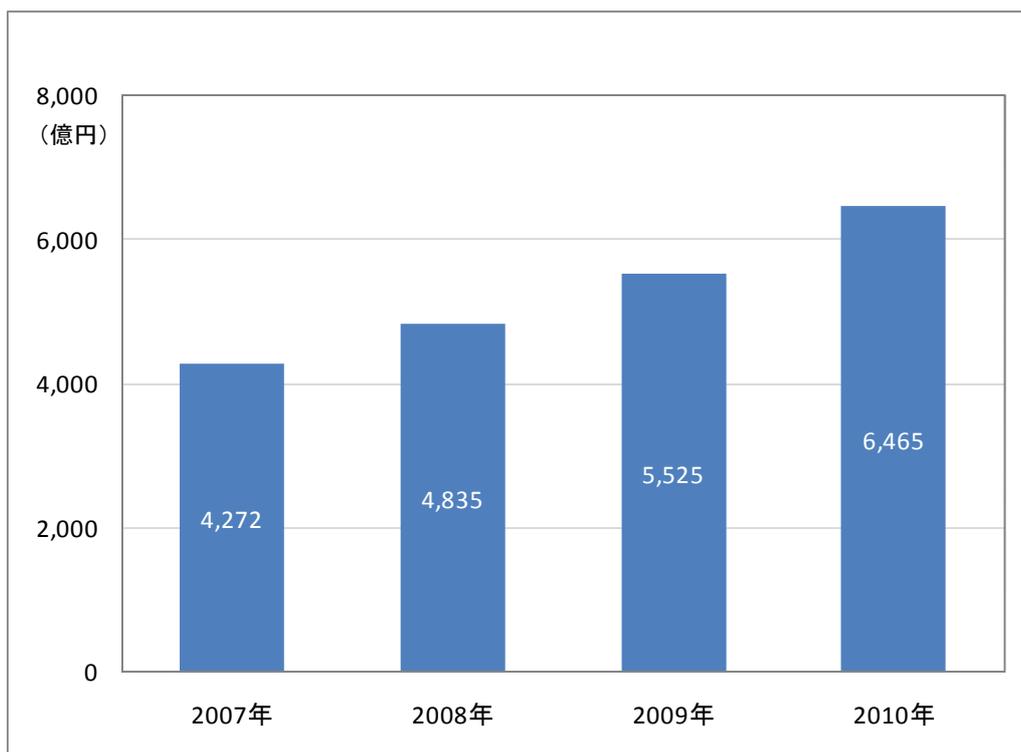
今回、市場規模には含まれておりませんが、この他のモバイルコンテンツ関連の市場分野としては、ピクチャー広告などの純広告と懸賞やノベルティでモバイルを利用した販促・キャンペーンなどを含んだ「モバイル広告・プロモーション市場」、モバイルコンテンツサイト構築、システム運営・管理を中心とした「モバイル・ソリューション市場」があります。

2010年モバイルコンテンツ（フィーチャーフォン）市場は、6,465億円

（参考）オープンプラットフォーム（スマートフォン）市場は123億円

（単位：億円）

	2007年	2008年	2009年	対前年比	2010年	対前年比
モバイルコンテンツ（フィーチャーフォン）市場	4,272	4,835	5,525	114%	6,465	117%



【参考】

（単位：億円）

	2007年	2008年	2009年	対前年比	2010年	対前年比
オープンプラットフォーム（スマートフォン）市場	—	(12)	(35)	292%	123	351%

総務省発表資料 「2010年 モバイルコンテンツの産業構造実態に関する調査結果」

*一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム調査

- *1 フィーチャーフォンとは、従来型の携帯電話であり、iモード等携帯電話向けIPサービスの携帯電話特有のサービスやコンテンツが利用できる端末
- *2 オープンプラットフォーム（スマートフォン）市場はPCインターネット環境に接続可能なスマートフォン上で取引が行われる市場と定義。なお携帯インターネット回線での接続をその対象とする。
- *3 スマートフォンとは、日本で主にiPhoneやAndroid OSを搭載した携帯電話であり、PCやPDAの機能が実装されておりPCのWebの閲覧ができる端末。主に、タッチパネル式の端末が多く、アプリなどをダウンロードする事でユーザーが機能の追加をすることができる。

2010年モバイルコンテンツ（フィーチャーフォン）市場の内訳

「アバター/アイテム販売（SNS等）」は1,389億円

「着メロ系市場」335億円、「着うた系市場」1,133億円、「リングバックトン市場」130億円

「動画専門」162億円、「生活情報市場」170億円「天気/ニュース市場」127億円

（単位：億円）

	2007年	2008年	2009年	対前年比	2010年	対前年比
着メロ系市場	559	473	402	85%	335	83%
着うた系市場	1,074	1,190	1,201	101%	1,133	94%
（内訳）着うた市場	568	483	432	89%	369	85%
（内訳）着うたフル市場	506	707	769	109%	764	99%
モバイルゲーム市場	848	869	884	102%	822	93%
装飾メール系	116	171	228	133%	243	107%
電子書籍市場	221	395	500	127%	516	103%
リングバックトン市場	87	110	115	105%	130	113%
占い市場	182	200	191	96%	185	97%
待受系市場	227	229	226	99%	214	95%
きせかえ市場	23	64	99	155%	117	118%
天気/ニュース市場	73	78	97	124%	127	131%
交通情報市場	164	206	241	117%	267	111%
生活情報市場	54	77	121	157%	170	140%
アバター/アイテム販売（SNS等）	60	157	447	285%	1,389	311%
動画専門	36	62	112	181%	162	145%
芸能・エンタテインメント系	195	201	241	120%	242	100%
メディア・情報系	77	66	66	100%	62	94%
その他	276	287	354	123%	351	99%
モバイルコンテンツ市場合計	4,272	4,835	5,525	114%	6,465	117%

総務省発表資料 「2010年 モバイルコンテンツの産業構造実態に関する調査結果」

*一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム調査

*1 天気/ニュース市場＝天気情報、時事、金融などのニュース

*2 交通情報市場＝ナビゲーション/地図情報、乗り換え駅の検索などの交通情報

*3 生活情報市場＝辞書、学習、健康情報等

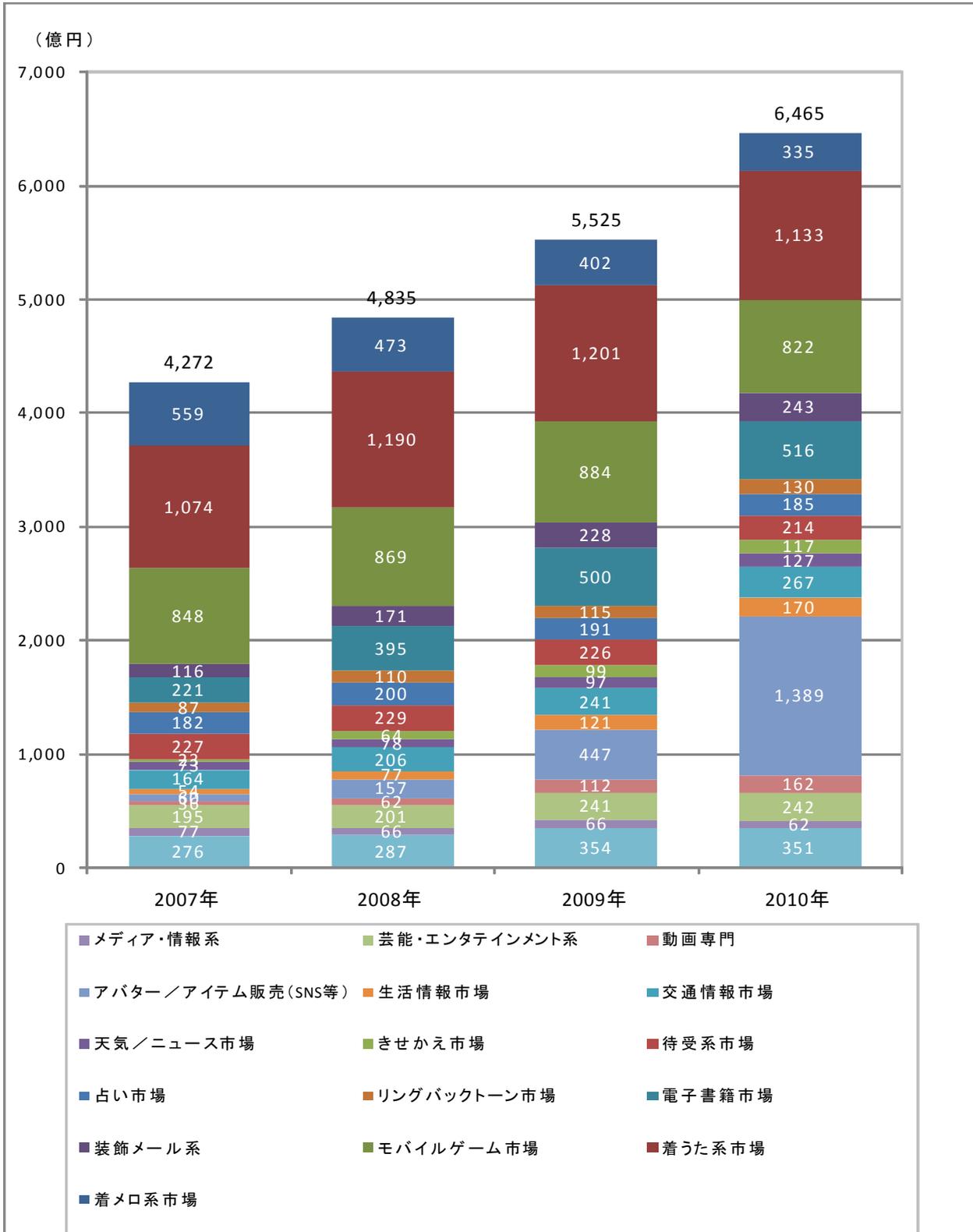
*4 アバター/アイテム販売（SNS等）＝SNS等の課金、アバターは、コミュニケーションサイトなどで用いられるキャラクター、アイテムはSNSのゲームサイト等で購入可能な道具類

*5 動画専門市場＝動画コンテンツを専門に提供するサイト

*6 芸能・エンタテインメント系市場＝芸能プロダクションが提供するアーティスト情報や芸能ニュース、映画などの情報

*7 メディア・情報系市場＝テレビ局やラジオ局、出版社などが運営している番組情報、雑誌情報など

2010年モバイルコンテンツ（フィーチャーフォン）市場

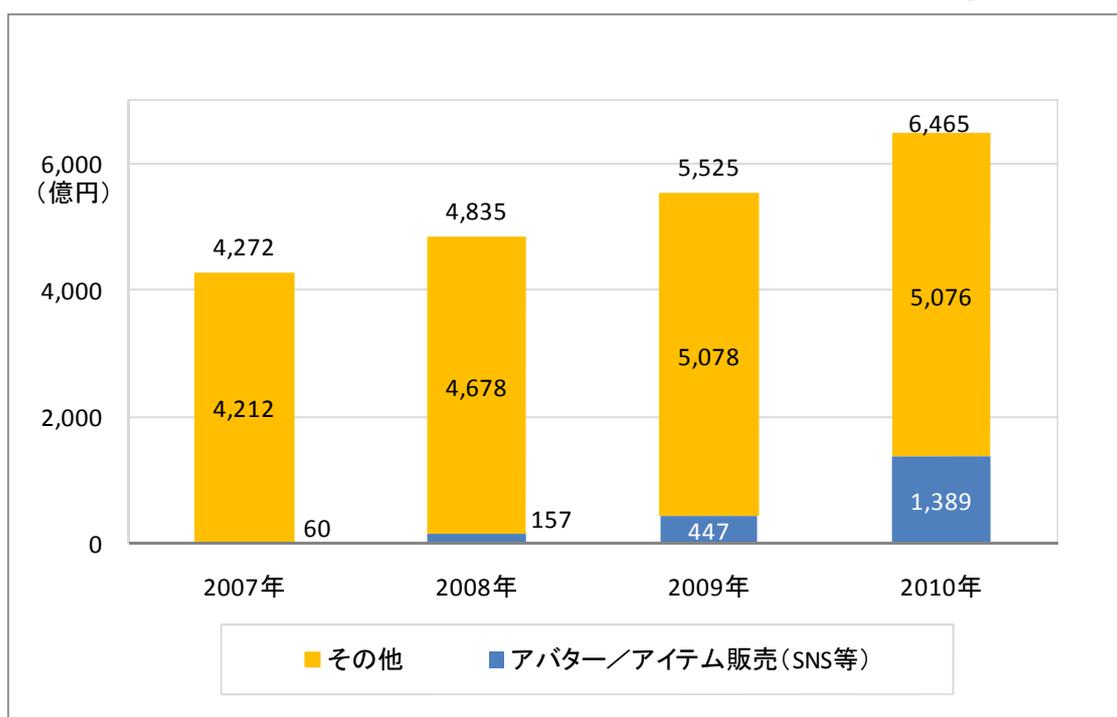


2010年の「モバイルコンテンツ市場」の市場規模は対前年比117%の6,465億円となっております。調査対象としてはフィーチャーフォン（従来型の携帯電話であり、iモード等携帯電話向けIPサービスの携帯電話特有のサービスやコンテンツが利用できる端末）の売上を対象としております。

昨年までモバイルコンテンツ市場の中では最大の市場だった「着うた市場」「着うたフル市場」を合わせた着信音系市場が今年は1,133億円（前年比94%）と減少し、1,389億円（同比311%）となった「アバター／アイテム販売（SNS等）」の市場が最大となりました。2010年は、着信音系市場以外でも7つの市場で前年比割れとなりました。「アバター／アイテム販売（SNS等）市場」とその他の市場を比較すると、2010年5,076億円と前年を下回っております。モバイルコンテンツ市場全体として見ると、増加傾向を示していますが、「アバター／アイテム販売（SNS等）」が市場を牽引しており、それ以外のコンテンツ市場は2010年に初めて減少傾向に転じています。会員制の有料を前提としたビジネスモデルから無料を前提としたフリーミアムでのコンテンツ利用への移行が見られます。

また、現在急成長しているスマートフォン上でのモバイルコンテンツ市場についても調査を実施しました。参考値となりますが、2010年オープンプラットフォーム（スマートフォン）市場は123億円となります。市場としてはフィーチャーフォンと比べて2%程度ではありますが、対前年度比351%と急拡大しております。

（参考：フィーチャーフォン市場における「アバター／アイテム販売（SNS）市場」の伸び）



2010年モバイルコマース市場は、1兆85億円

「物販系」は、4,392億円

「サービス系」は、4,109億円

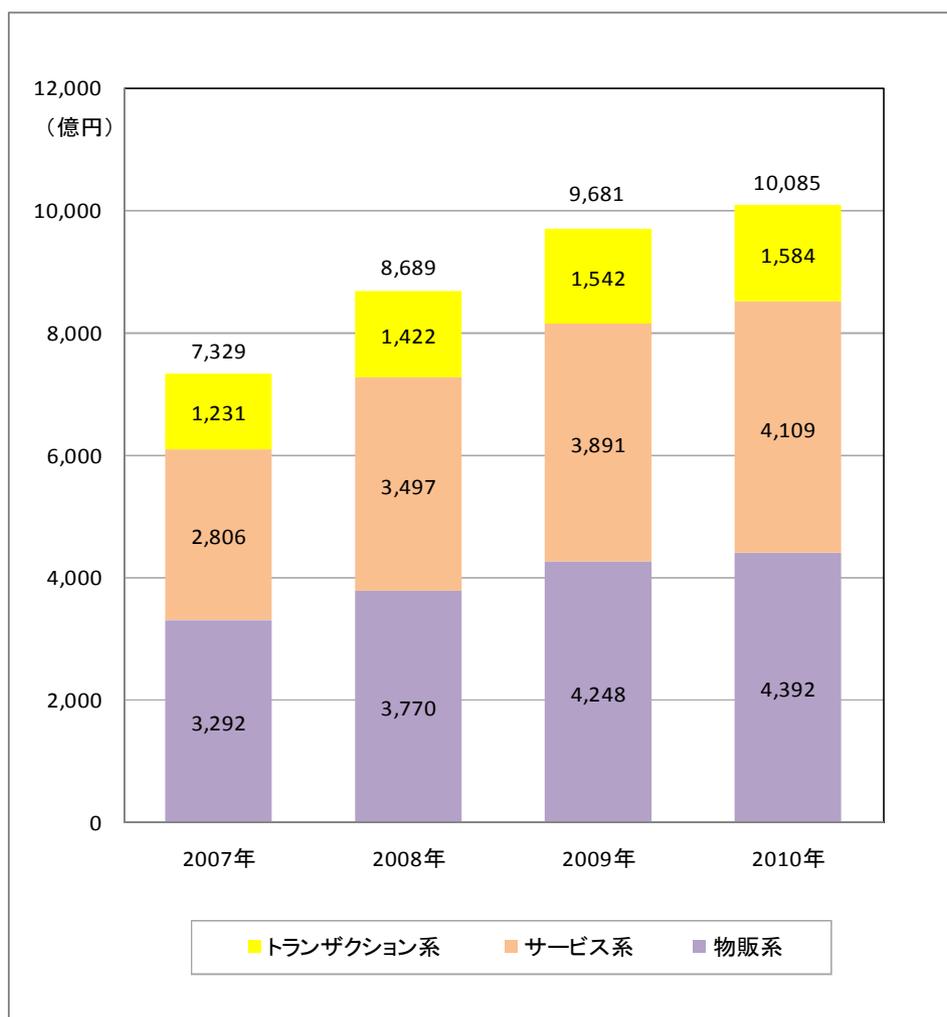
「トランザクション系」は、1,584億円

(単位：億円)

	2007年	2008年	2009年	対前年比	2010年	対前年比
物販系	3,292	3,770	4,248	113%	4,392	103%
サービス系	2,806	3,497	3,891	111%	4,109	106%
トランザクション系	1,231	1,422	1,542	108%	1,584	103%
モバイルコマース市場合計	7,329	8,689	9,681	111%	10,085	104%

総務省発表資料 「2010年 モバイルコンテンツの産業構造実態に関する調査結果」

*一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム調査



「モバイルコマース市場」は、「物販系」（モバイル通販）、「サービス系」（興行チケット、旅行チケット、航空チケット、鉄道チケット）、「トランザクション系」（証券取引手数料、オークション手数料、公営競技手数料）の3分野に分類しております。3分野あわせた「モバイルコマース市場」は、対前年比104%の1兆85億円となり、伸び率自体は落ち着いたものの、ついに1兆円を超える市場となりました。

商品を携帯電話から購入する「物販系」は、前年比103%の4,392億円となりました。物販系の市場では、リアル店舗、PC、テレビなど様々なメディアでの展開を行っているショッピングモール系大手での売上が順調に増加している一方で、モバイル物販専門企業の売上が伸び悩みを見せ始めている傾向が見られます。

携帯電話での興行チケットや交通チケットの購入を含んだ「サービス系」に関しては、前年比106%の4,109億円となりました。昨年に引き続き、予約購入、改札、チェックインができる方法として、特に交通系の市場が増加しているとみられます。今後、「おサイフケータイ」などのスマートフォンへの搭載も進むことが予想され、サービス系市場の拡大も見込まれます。

証券取引、公営競技、オークションなどの手数料を集計した「トランザクション系」は、前年比103%の1,584億円となりました。それぞれの市場において、増加が見られており、公営競技市場においては、モバイル経由の取引が定着していることが伺えます。

一般的に販売サイトにおいてはフィーチャーフォンとオープンプラットフォームの区別がされていないため、一部オープンプラットフォーム経由の売上が含まれていると考えられます。

■まとめ

2010年のモバイルコンテンツ分野では大きな変化が見られました。ひとつには2008年から普及が始まったスマートフォン端末の急速な普及が年末から始まった事です。もうひとつは、従来型のフィーチャーフォン市場のなかでも、全体の市場規模は増加傾向にあるものの、ビジネスモデルにはっきりした変化がみられる事です。「動画専門」や「天気/ニュース市場」、「生活情報市場」など、引き続き成長を続けている市場がある一方で、「着メロ」「着うた」などのこれまで中心的な存在であった市場に陰りが見え始めました。その代わり市場を牽引しているのは「アバター/アイテム販売（SNS等）」市場の急拡大です。これは、従来の月額課金を中心であったビジネスモデルとは違い、新たにいわゆる「フリーミアム」なビジネスモデルが定着し拡大していえる事を示しています。また、参考値として公表したオープンプラットフォーム（スマートフォン）市場については、フィーチャーフォンの2%と市場が非常に小さいうえ、海外からの売上も含まれており、現在非常に厳しいビジネス環境であるといえます。しかしながら、端末の普及と新たなビジネスモデルの開発、グローバル市場への展開等によって、市場の拡大が見込まれます。

モバイルコマース市場では、商品注文するネットワーク端末としての認識がすすみ、リアル、バーチャルを問わず、購入を検討する際の窓口の一つとして定着してきました。シチュエーションに合わせて様々なデバイスを利用する傾向が見られます。2010年はモバイルコマース市場も成熟化が進んでおり、市場全体の成長が鈍化しております。しかしながら、今後、スマートフォン、タブレット型端末など商品を購入するためにより利便性の高い端末が普及することによって、市場が拡大する可能性が考えられます。従来スマートフォンユーザーはPC画面にアクセスして購入していくものと考えられてきましたが、フィーチャーフォンと同様に、スマートフォンの画面にあわせた作り込みが必要

である事がわかってきており、普及につれて各社のスマートフォン対応が進んで行くものと思われます。

◆一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム（略称：MCF）

モバイルコンテンツ環境活性化のため、モバイルコンテンツ配信事業に関連する企業が参加する業界団体です。モバイルコンテンツ関連産業の健全な発展のため、消費者や関係団体等と円滑な関係を構築し社会との共存共栄を目指して、業界及び会員の活動をサポートしていくことをミッションとして活動しております。

会員数はコンテンツプロバイダーを中心に 257 社（2011 年 7 月現在）

本リリースに関するお問い合わせ先

■一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム

■連絡担当者 岸原孝昌、越賀真紀

東京都渋谷区東 3-22-8 サワダビル4F 〒150-0011

Tel:03-5468-5091 Fax:03-5468-1237

E-mail:info@mcf.to URL:<http://www.mcf.to/>

■電話での連絡可能時間帯 10:00～19:00